# ワクチン接種記録システム(VRS)について



2021年3月 医師会説明会 < 従来の予防接種事業と新型コロナワクチン接種事業の相違点>

①約1億人が短期間に2回の接種を要し、管理が煩雑

②ワクチンの性質と国民的関心の高さから、 **多数の問い合わせ**が予想される

③住民の求めに応じて接種証明を出す必要も想定

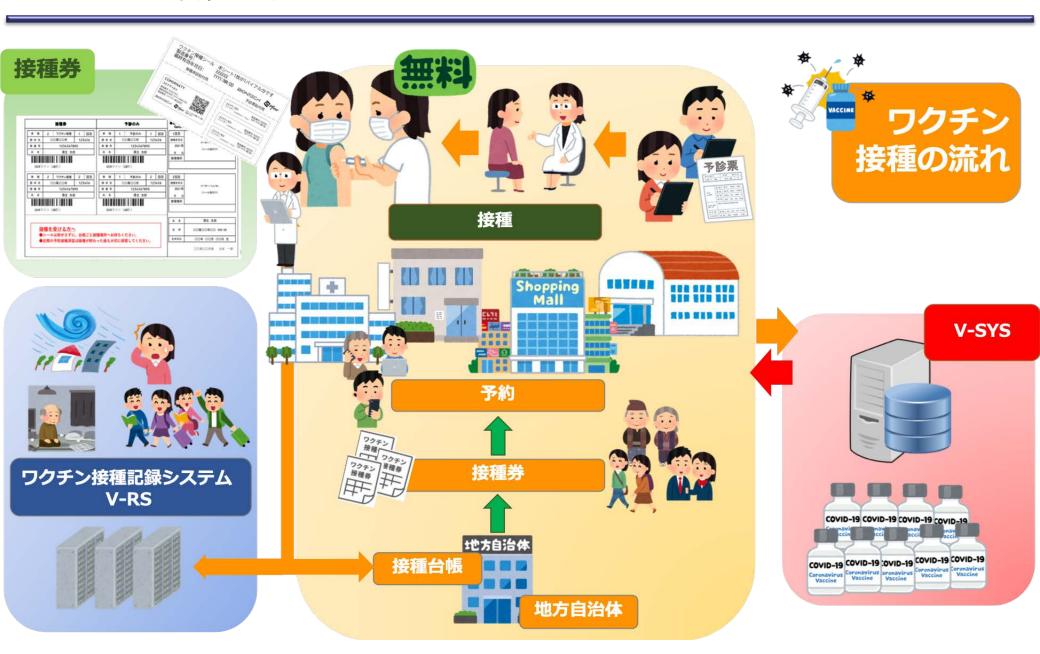
● 現行の自治体ごとに保有する予防接種台帳に入力という手法では、 データ化されるまでに2~3か月かかる。

- 迅速なデータ化ができないと、<u>複数回接種のタイミング</u>などに対する市民からの問い合わせ、引っ越してきた市民への問い合わせへの対応が困難になってしまう。
- 住所地外の施設に入所する高齢者への<u>巡回接種や職域接種を今後検討</u>するにあたり、住所地の自治体が住民の接種状況を把握することが困難

● ワクチン接種事業全体の円滑な進行には、国民の理解が不可欠。全国の進捗状況 を踏まえた政策対応に加え、迅速な情報提供や副反応調査の迅速化が重要。

● 災害時における予診票等喪失時の再発行等の事務手続きに備えることが重要。

### <ワクチン接種の流れ>



#### <接種券とワクチン接種シールイメージ>

#### 接種券(現時点案)



※接種時点では、市町村から発行された接種券のほか、予診票等が必要

製造番号:

最終有効年月日:

ワクチン接種シール 本シート1枚が1バイアル分です

XXXXXX

YYYY/MM/DD BIONTECH & Pfizer

ファイザー COMIRNATY Pfizer

接種済証貼付用

予診票貼付用

#### **COMIRNATY**

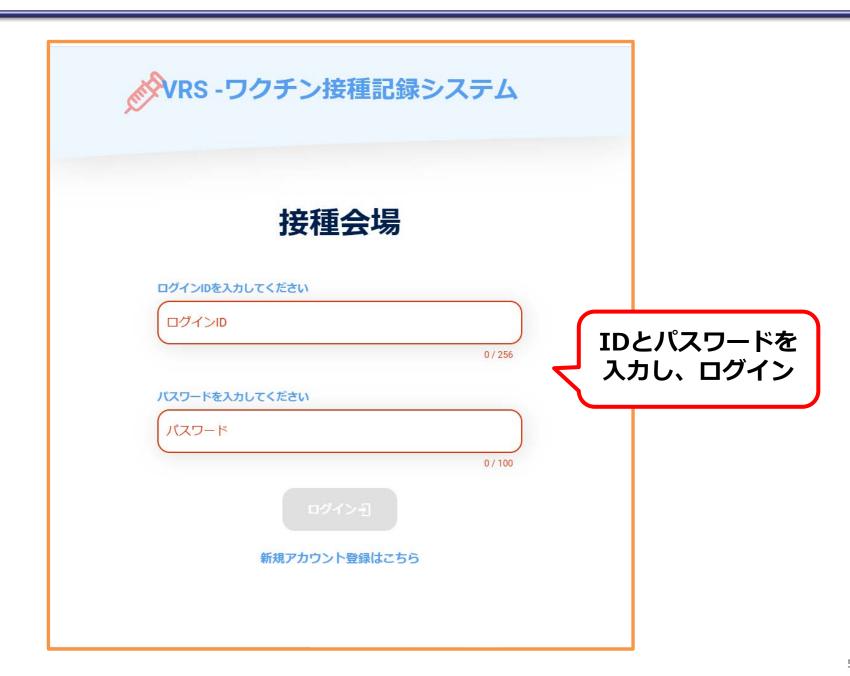
コミナティ筋注

製造番号:XXXXXX 最終有効年月日:YYYY/MM/DD 製造販売:ファイザー株式会社

BIONT三CH **Pfizer** QRD-H-IJRLから推復フクチン情報

コミナティ筋注 製造番号:XXXXXX ファイザー COMIRNATY Pfizer

コミナティ筋注 製造番号:XXXXXX ファイザー COMIRNATY Pfizer EXP:YYYY/MM/DD



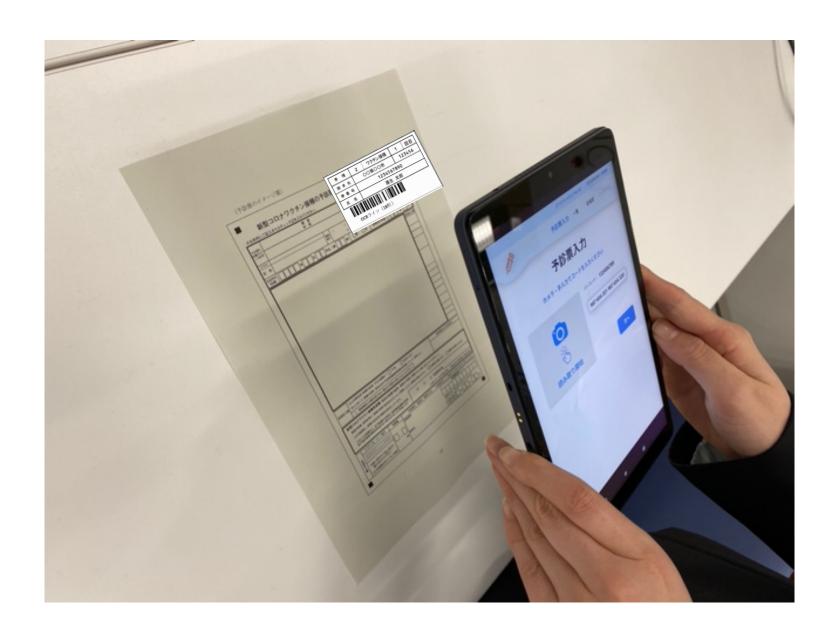
○ 北海道札幌市 | 札幌会場 **□**ログアウト 設定 ワクチンと会場名を登録してください。 自治体名: 北海道札幌市 会場名: 札幌会場 / 編集 ファイザー ワクチン: ロットNo: 111 接種量 1 ml 医師名: 接種 太郎 / 編集

当日使用するワクチン種別と ロットNo.を登録することで、 カメラ読み取りは接種券のみと することが可能 (なお、同日内にロットNo.が 変わった場合でも随時変更は可能)

※医師名には通常の予防接種における 接種医にあたる方の氏名を登録



## <OCRラインの読み取りイメージ>



### <読み取り結果画面 通常の場合>



表示された読み取り結果と 予診票の氏名もしくは 接種券番号を確認の上、登録

### <読み取り結果画面 住所地外接種の場合>



接種対象者が医療機関の所在する 自治体に住民票を置いていない場合、 赤字のような表示がでます。 その際は表示された読み取り結果と 予診票の接種券番号を確認の上、登録

### <読み取り結果画面 予診のみの場合>



#### <VRSへの初回ログイン設定>

# ◎ログインID/パスワードの設定手順

- 1. タブレット端末を起動
- 2. ホーム画面の「VRSログイン」アイコンをタップ
- 3. GMISのログインIDを入力 (※)
- 4. SMSでタブレット端末宛てにパスワード設定URLを送付
- 5. 任意のパスワードを設定(GMISと同じものを設定可能)
- ※GMIS未利用の医療機関には自治体からログインIDをお知らせします。
- ※通信等タブレット端末自体の初期設定は行った上でお届けします。





動画や図解等、わかりやすい操作マニュアルの作成に加え、FAQの作成、コールセンターなどサポート体制を準備いたします。

#### ワクチン接種記録システム 操作マニュアル

#### 接種会場



#### 且次

- 1. ログイン
- 2. 設定(会場情報)
- 3. 予診票入力
- 4. 予診票登録1~4
- 5. 一覧(当日の登録結果一覧)

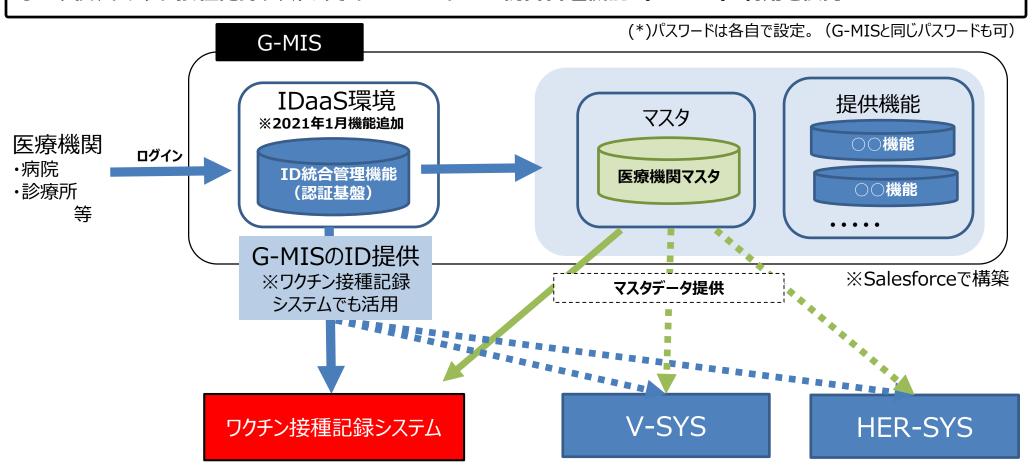


タブレットによる接種記録の入力が困難な医療機関については、自治体で回収し、入力いただくことを自治体にお伝えしています。

その際、自治体が入力を外部委託することが可能であり、日本医師会よりご提案いただいたように、地区医師会が自治体から委託を受けることも自治体の判断で可能です。

#### <将来的な各システムのID連携について>

- G-MISのログインIDをワクチン接種記録システムと共有 ⇒ G-MISのログインIDで使用可能に(\*)
- 今後、ワクチン接種記録システムでのG-MISの I D統合管理機能(IDaaS)利用を検討



- ○V-SYS、HER-SYSは、すでに運用が開始しているため、システムに及ぼす影響等を踏まえ、IDaaSの利用 (シングルサインオンの導入)について、今後検討
- ○PMDAの副反応報告については、薬局など副反応報告システムのみの利用者も存在し、 利用対象者が異なること等から、長期的な検討課題。

自治体が、ワクチン接種記録システムを予防接種台帳として 利用することとした場合、将来的には、市町村がワクチン接 種記録システムに記録された予診票情報に基づき支払いを行 うことにより、

請求事務に関して市町村への紙の予診票の送付が不要になる ことを想定しています。

ワクチン接種記録システムに記録された予診票情報を用いた支払いフロー(イメージ)

